

0566-21-0211

こんにちは。院長の久田和明です。今回が引き続き38号となります。

本号では、歯痛の仕組みを説明します。家族の皆様でご覧ください。



「歯が痛いなあ・・・」

皆さんが歯科にいらっしゃるときですよ。でも、歯の表面は、皮膚などと違って感覚がありません。

ではいったい、なぜ歯が痛くなるのでしょうか？

■歯の構造を知ろう！！

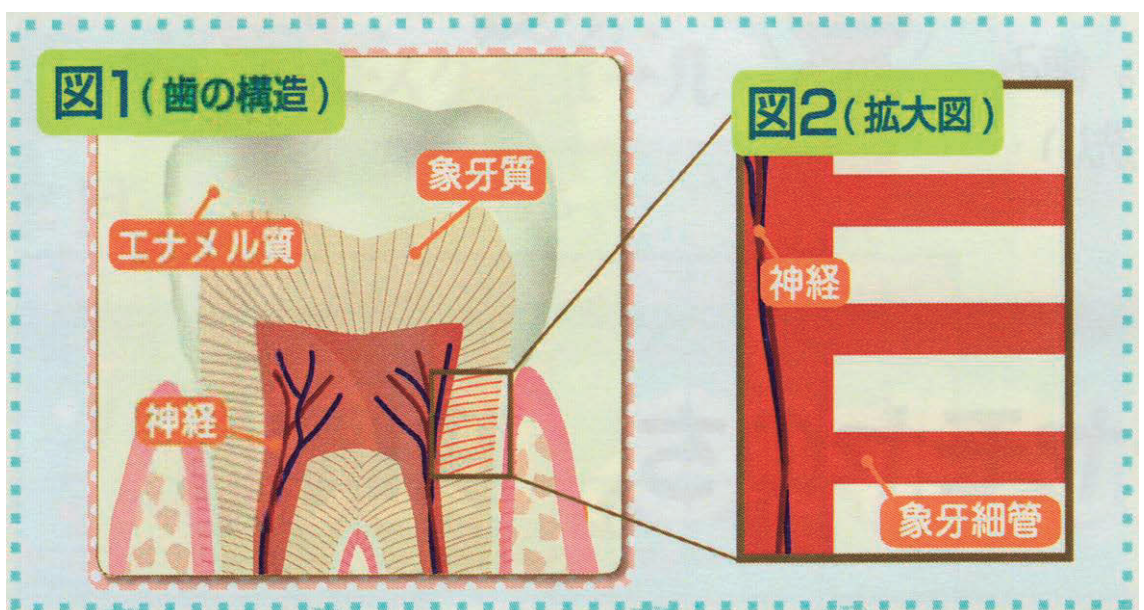
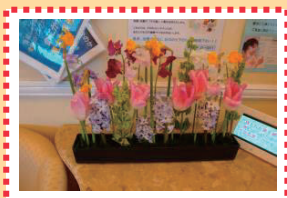
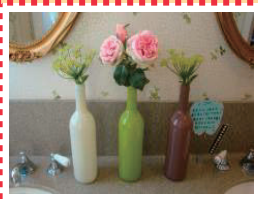
まず、歯が痛む仕組みを理解するには、「歯の構造」を知る必要があります。そこで、下の図1をみてください。

皆さんもご存知の通り、歯には神経と呼ばれる部分があり、それを覆うように、象牙質、エナメル質があります。そして冷たい・熱い・痛いなどの感覚はこの神経が感じ取っています。

■歯には痛みを感じない部分がある。

まず一番外を覆っているエナメル質ですが、ここは一切痛みを感じません。エナメル質だけのむし歯でしたら、削るのに麻酔を使うこともありません。ちなみに人間の体の中で最も硬いのがこのエナメル質で、鉄よりも硬度が高く、治療で削るときにダイヤモンドを使用するほどです。

医院のお花



裏面に続く、

■ 神経は通っていないけれど・・・

次に象牙質ですが、ここには神経はありませんが刺激を与えると痛みを感じます。象牙質部分を拡大した図2をご覧くださいとお分かりのように、象牙質にはたくさんの管があります。これを「象牙細管」といい、管の中は「組織液」で満たされています。組織液は液体ですから、温まると膨張し、冷たくなると収縮します。そうした液体の動きが奥にある神経を刺激する、というわけです。

つまり、神経はもちろん象牙質に刺激を与えてしまう状態になると、痛みを感じるようになります。その原因は主に次のようなものが考えられます。

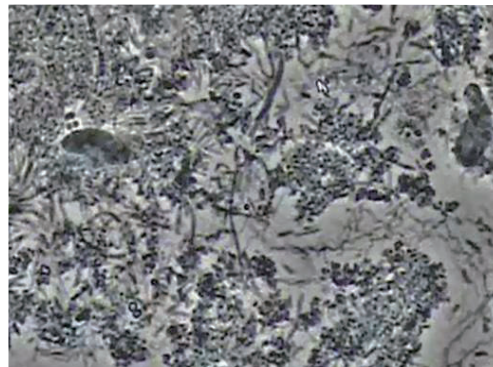
- 1 むし歯が象牙質にまで達している
- 2 歯の磨きすぎでエナメル質がすり減っている
- 3 歯周病などで歯の根っこが露出している
(歯の根っこは象牙質をおおうエナメル質がありません!!)

いずれにせよ、歯が痛む場合、何らかの異常がある可能性が高いと言えます。ちょっとでも「しみるな・・・」と思ったら、早めにご来院くださいね。

☆よくある質問＝なぜ3か月に一回通うの？

本来は毎月1回が理想ですが、当院では3か月に一回を基本としています。お口の中の細菌数は1か月经つと元にもどってしまいます。3か月经過すると、歯石として固くなってしまいうため、早めに歯石を取ることで患者さんへの負担も少なくなります。ちなみにアメリカでは1か月に一回メンテナンスに通う人も多くいます。

お口の中の細菌⇒



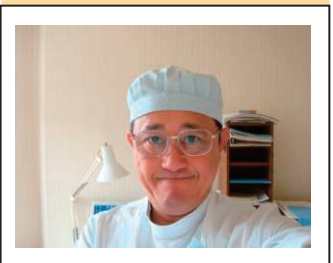
京極歯科

〒448-0844 刈谷市広小路3-33 (木・日・祝は休診です)

電話予約 ☎ 0566-21-0211

ネット予約 インターネットで [刈谷市 京極歯科](#) で検索してください。(24時間対応)

HP・・・<http://www.kyogoku-dental.com> <http://www.ireba-aichi.com> <http://www.kyogoku.jp/>



久田 和明

歯学博士

歯科理工学専攻

趣味はゴルフ